

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

企画財政課

件名	「鹿島さいこうプロジェクト(鹿島高校)」の特別授業について
アピールポイント	<p>鹿島高校では、生徒自らが地域の現状を知り、課題を見つけ、その解決へのアプローチを通して、社会貢献を目指すとともに自分の生き方を考えるを目的に、鹿島市と協働し「鹿島さいこうプロジェクト」を実施しています。</p> <p>今回、このプロジェクトの中の「地域創生クラス」で、鹿島市役所と地域貢献に取り組む佐賀財務事務所(国の機関)が連携し、特別授業を実施いたします。</p> <p>特別授業の内容としては、佐賀財務事務所の職員を講師とした「財政教育プログラム(鹿島市予算版)」をワークショップ形式で実施しますので、お知らせいたします。</p>
説明口	<p>対象 佐賀県立鹿島高校 2年生10名 (地域創生クラス所属)</p> <p>日時 令和4年6月10日(金) 15:25~16:15 ※15:00に会場で事前説明実施</p> <p>会場 鹿島高校 赤門校舎</p> <p>講師 佐賀財務事務所 財務課 佐保 渚 (佐賀市出身)</p> <p>内容 財政教育プログラム(鹿島市予算版)</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	企画財政課
氏名	松林 聡
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	satoshi-matsubayashi@city.saga-kashima.lg.jp

鹿島高校（地方版財政教育PG）

福岡財務支局 佐賀財務事務所

2022年6月10日

皆さんが学習する「地域創生」の目的は何ですか？

- 「地域を賑やかにしたい」
- 「地元ですっと働けるいい仕事が欲しい」
- 「地元ですっと暮らせるいい街にしたい」
などではないでしょうか。

では具体的にどうやって？

例えば、
皆さんの各班のテーマでもありますが、

- 地場産業の活性化(のり、みかんなどの農作物)
- 観光業の活性化(祐徳稲荷、浜宿など)

なども一つの方法です。

その他にも、

- 子育て、教育環境の向上(保育所の整備、学校・図書館などの整備)
- 道路・公園などの整備

なども、皆さんが住みたいと思う魅力あるまちづくりには必要ではないでしょうか。

でも、

- 地場産業や観光業の活性化
- 子育て、教育環境の向上
- 道路・公園などの整備

にはお金がかかります。
では、どのようにお金を工面しようか。

今回のプログラムでは、皆さんに

- 鹿島市を魅力ある街にするため、日々活動している鹿島市役所の予算について理解してもらい
- 皆さんには「市長」となってもらい、予算編成を行い、どの事業にお金を使うか検討してもらいます。

市長になって予算を作ろう！

1班

項目	歳出	
	R4年度予算	増減
子育て	23億円	現状維持
高齢者・障がい者	30億円	現状維持
公共事業	25億円	現状維持
市の運営	29億円	現状維持
教育	13億円	現状維持
衛生・環境	10億円	現状維持
消防・救急	4億円	現状維持
農林水産・産工業	12億円	現状維持
借金返済	10億円	現状維持 (10億円)
その他		

項目	歳入	
	R4年度予算	増減
市民税	12億円	現状維持
固定資産税	15億円	現状維持
国・県からのお金	79億円	現状維持
その他の税 税以外の取入	27億円	現状維持
新たな借金	23億円	23億円

2020年の人口

27,915人

2040年の人口

23,922人

推定値:23,922人から

変わらない 増



予算編成にあたり、

- 予算には限度があり、「歳出」と「歳入」の双方が均衡して成り立っています。
- 例えば、「歳出」を増やしたいが、「歳入」が増えないと「新たな借金」が増えます。
- 皆さんには、限られた予算の中、どの「政策」にお金を使って「地域創生」したいか考えてもらいます。

項目	増減	政策(お金の使い道)	金額	項目	増減	政策(お金の使い道)	金額
子育て	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の維持管理	13億円	教育	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 学校給食の提供	1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童クラブ運営	1億円			<input checked="" type="checkbox"/> 公民館・図書館の維持管理	3億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 児童手当、児童扶養手当	6億円			<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校大規模改造整備	3億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 児童手当UP(1.5倍)	3億円			<input checked="" type="checkbox"/> 外国語指導助手、ICT支援員増員	1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 児童手当DOWN(0.5倍)	▲3億円			<input checked="" type="checkbox"/> 公営塾の設置	1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 18歳以下医療費無料	1億円				
高齢者・障がい者	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 障がい者支援(就労訓練、介護支援)	7億円	衛生・環境	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ごみ処理、し尿処理	4億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者医療、介護医療費	11億円			<input checked="" type="checkbox"/> 予防接種・健診等事業	2億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者医療、介護医療費UP	3億円			<input checked="" type="checkbox"/> 電気、水素ステーション設置補助金	2億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者医療、介護医療費DOWN	▲3億円			<input checked="" type="checkbox"/> エコカー購入の補助金	1億円
公共事業	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 道路・河川・橋などの整備・老朽化対策	3億円	消防・救急	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 消防活動費	3億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 公園・街路整備	1億円			<input checked="" type="checkbox"/> 医療従事者への特別手当助成	1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 市営住宅建設、定住促進事業(空き家活用)	2億円			<input checked="" type="checkbox"/> 救急車の有料化(軽症者)	▲1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民会館建設事業	17億円				
		<input checked="" type="checkbox"/> まちなみ整備事業	1億円				
		<input checked="" type="checkbox"/> 肥前鹿島駅整備	5億円				
市の運営	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 人件費	23億円	農林水産・商工業	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 農業・園芸振興	3億円
		<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税基金の積立	3億円			<input checked="" type="checkbox"/> 林業・水産業振興	2億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 議員・職員の給料UP	2億円			<input checked="" type="checkbox"/> 道の駅鹿島整備	1億円
		<input checked="" type="checkbox"/> 議員・職員の給料DOWN	▲2億円			<input checked="" type="checkbox"/> 観光PR強化	1億円
				<input checked="" type="checkbox"/> 新たな産業の創出	1億円		
				その他①小幅増	1億円		
				その他②小幅減	▲1億円		
				その他③大幅増	5億円		
				その他④大幅減	▲5億円		

2022/...

8

- 各政策の選択肢は、令和4年度の鹿島市一般会計の当初予算から主要な事業を取り上げ、選択肢にしています。
- 黒字と青字がありますが、黒字は現状の政策、青字は追加の政策となっています。
- 各項目の政策欄には空欄も設けています。記載にない政策を行いたい場合は、アドバイザーに相談してください。

-
- 最後に「歳入」を増やしたい場合は、アドバイザーに相談してください。
 - その際は、各班で「歳入」を増やす手立てを考えていただいたうえで、「歳入」の増加を認めます。
 - 各施策を行うことで人口の増減にも注目してみてください。